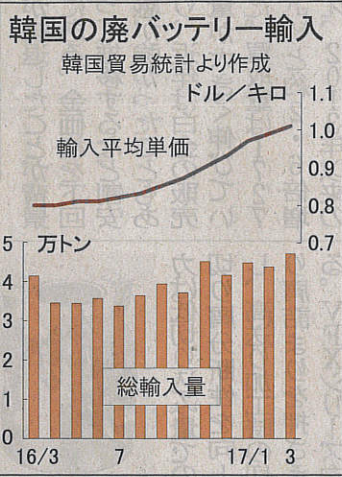


3月韓国 廃電池輸入 4.7万トン

過去最多、対日は1万トン弱

韓国関税庁が13日発表した貿易統計によると、3月の廃バッテリー（使用済み自動車用鉛蓄電池）の総輸入量は前月比7・7%増の4万7038トんで、過去最多を更新した。輸入平均単価はキロ・01に上昇し、高値買いに拍車を掛けている実態が浮き彫りになった。日本からの輸入量は2・8%減の9928トと、2カ月連続で1万トレベルが続いた。



鉛二次精錬業が盛んな韓国は、昨秋からリサイクル原料の廃バッテリー調達を拡大しており、昨年11月に過去最多となる4万5000トの月間輸入量を記した。

輸入平均単価は前月比0・02ドルアップして、2年1カ月ぶりの1ドルに到達。昨年2月以来ダウンしておらず、とくに輸入量が増加した10月以降で0・16ドル高（16%）と騰勢を強めている。ロンドン金属取引所（LME）相場の前月平均がトン2321と、4年ぶりの高値を付けていたことも背景にあるが、韓国二次精錬筋の買い気の旺盛さが主な引き上げ要因とみられる。

主な輸入相手国の数量と平均単価は、米国1万1192ト（1・02ドル）、日本9928ト（0・99ドル）、アラブ首長

スクラップ 亜鉛 現金買入
カークサイト(金型)・丹人コロ・ドライ粉・その他
各種亜鉛再生塊製造販売

株式会社 市川金属
社 岐阜県各務原市瑞沼朝日町1-33 TEL 058(370)4655(代)
東京営業所 神奈川県厚木市金田391-1 TEL 046(294)3700(代)

（1・00ドル）、トーゴ1646ト（1・05ドル）、ガナ1523ト（0・90ドル）、ニュージーランド1364ト（1・00ドル）、ブルネイ1157ト（0・99ドル）。首位の対米輸入は4カ月連続で1万トを超えた。日本からの輸入量は過去4番目の多さ。平均単価0・99ドルは前月より0・02ドル上がり、2013年4月以来の高値だった。今夏にも「バーゼル法改正案が施行され、輸出先の適正処理の証明を義務付けるなどの輸出規制が敷かれるとの見方から、在庫保有者が売り急ぐ動きがあり、これが韓国側の買い気と合致して輸出が高水準となっている。

国連邦7059ト（1・06ドル）、ドミニカ共和国3336ト（0・97ドル）、シンガポール3321